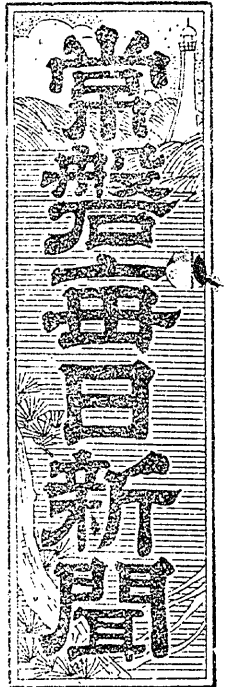


刊夕日二十二月九



定価 一部金五銭 五部金二角五銭  
廣告料 五銭 十二字以上 一行 金五銭  
日曜 祭日の日 休刊  
発行所 常磐新聞社  
印刷所 常磐新聞社  
電話 六六六  
郵便 常磐新聞社  
電話 六六六

### 燒身供養の話

眞 繼 雲 山

斯うした犠牲奉仕の信仰が凝りかたまり、積み重なつた末に生れ出たのが燒身供養であつた。印度にては謂はゆる苦行が段々と高じて身を燒き、或ひは餓え、乃至、恒河に投ずるもの日に幾人なるを知らず、蓋し彼れ等は、これによつて來生の樂果を期待したのである。身を惜しまざるは、不自信身命といひて最も尊ひが、それは佛に——衆生にその命をさぐるの謂ひである。無意味に大死するだけならそれはむしろ佛の命を損ずるものである。この故に釋尊は深くこれを制戒し、外通として堅く禁せられたが、この流風は支那に入りても東晋の頃より感んに行はれ日本に於ても平安朝の末葉より室町時代まで藥王燒身の高行を模するものが續出した。昔の人は佛を信じ、これに事ふることが左ほどまでに眞剣であつたことが見のがせない。

茲に於てか經には厭離穢土欣求淨土といふことが、懇ろに教へてある。穢土とはこの世のことである。淺ましきこの世を厭ひはなる、に非ずんば淨土をよろこぶ心はおこらない、淨土をよろこび得ずんば、いづくんぞ經生を得んやである。善導大師の玄義分には「生死甚だ厭ひ難く、佛法またよろこび難し」といひて凡夫の固執を見抜かれてある。般舟讚には「よろこべば則ち淨土常に居せり」とある。淨土をよろこぶ心が

- 明日の献立
- 味噌汁
- 朝味噌汁：玉葱 小井
- なす芥子漬
- 晝揚出し なた 大根
- おろし 花かつを
- 晩 のつぺい汁：鹽鮭
- 人參 芋焼物：鯉
- 小井 白須干二杯酢
- もみのり

そのまゝ淨土の住人となり得るのである。賤ケ伏屋もよろこべば、それがそのまゝ淨土に外ならぬからである。生死とは何ぞやといふに字義としては「生ききたり死んだり」であるも、覺らざるものに死しては、生死はそのまゝ迷ひであり夢である。首楞嚴經には「生々死々して旋火輪の如く未だ休息あらず」とあつて凡夫は休むひまもない。小さな我執に固着する時は人生の終局とも見ゆる大問題であるも、無我を證して振り返れば、人生とは生と死との火繩の輪であつて實體はない。然るに凡夫みだりに實有と執して苦惱するゆへに佛おしへて「生死長夜」とのたまふ、然れども生死とは吾々を縛るための繩ではなく、若しその繫縛を脱して諸法實相の觀解が開けるならば生死に即して涅槃あり、煩惱に即して菩提がある。迷ひといひ悟りといふさへに假りの言説、迷悟ともに拂ひ了せば本有の大覺は朗然として顯現する、この生そのまゝが永遠の生であり、謂はゆる不生不滅である。

石炭 平 驛 前

阿部石炭店 電話三十七番

豆炭

平町南町五二

根本産人科醫院

根本 莊次郎

根本 貞雄

電話三四番

（手術室完備）  
（入院隨時）

平岡韻

電話624

吸入用酸素純度99%

体温計

寒暖計

度量衡器

モノサシ

マ

ス

ハカリ

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

市原醫院

平町・四町

電話一四番

吉田眼科醫院

平町紺屋町

新製秋冬紳士服御誂

御假縫付仕立入念奉仕!

福永洋服店

福島縣平町田町十九

末廣料理店前 電話二八二

福永洋服店

福島縣平町田町十九

末廣料理店前 電話二八二

開院 専門

皮膚科

泌尿科

性病科

江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎

平町田町（山内醫院跡）

電話六九一番

諸機械製作販賣

田邊製作所

平白銀町（驛前通）

電話二九四番

機械切各種齒車製作

田邊製作所

平白銀町（驛前通）

電話二九四番

# 社告

## 中等 學校 教員野球大會

### 第二回の優勝旗争覇

- ◇ 期日 九月廿七日午前八時
- ◇ 場所 磐城 中學校々庭
- ◇ 参加 磐中 平商、磐女各職員

主催 常磐毎日新聞社

## 測候所の明朗な……

### 御託宣こそ有難し

颯爽たるハイクには

### 絶好の秋日和

## 晴れる日中

蕭々の秋雨も永く降り續けて、ジメ／＼とした昨今の天候に幾分憂鬱を覚へさせられてゐたが今日暫く振りの快晴で蒼々の天空を仰ぎ見る人達の瞳も晴々と明朗だ。

それに明二十三日は快晴に見える秋季皇靈祭の休日ときて人々の喜びは一層深い。

此の前の日曜二十日は雨こそ無かつたが朝寒の曇天で折角の「ハイク」の快味も終日空を氣付かつて屋内に轉がるデーと變じうた、慨嘆せられたものだった。

明二十三日の秋季皇靈祭は幾分曇りとしてもそれは一時で大体晴で雨ありません。

## 青年夜學

十月一日から開始さる

平青年學校の夜學は來る十月一日から開始されるが各科目の受持教師左の如く今年からは簿記、國史の二科目が新設される由

- 修身 篠山校長 公民 菅波
- 數學 大和田 國語 水竹
- 英語 同 商業 大越 地理 國史 松崎 珠算 簿記 瓜田

## 俵米共販

幾分か上向

石城販聯の俵米共販は二十日平町農業倉庫で執行されたが出荷四百八十三俵で前回に比し幾分の上向きを示した

- 平一 一圓四四錢 飯野一
- 一、六四 鹿島一、八
- 二 大野一、七〇 草
- 野信用一、六八 平窪
- 一、八四 草野郡農會
- 一、六八 勿來一、

## オリソピツクの旅

(二)

往來途上の印象記

松野尾 繁雄

その一町位の真中に、間を四五間を置いて二本の三間位の高さの棒が立つてゐる一本はソザエートの、一本はポーランドの表示をつけて。此の二本の真中がつまり國境線なのだ。此の線は雑草がかりはらはれ、森のあるところは立木が切られてゐるらしいが、然しそれ

## イカの大漁から

失業漁夫は全部就職

本郡割當が解消

平職業紹介所では既報の如く青森縣八戸市漁業組合等關係の出稼漁夫を地元で斡旋すべく極力之が開拓を努力した結果

- 小名二百名 江名二三〇
- 名 四倉三〇名

の各漁業地で引受けることに決定したが今度は八戸市方面の漁業は最近にないイカの豊漁のためこれら失業漁夫は全部就職を見るに至り石城地方の出稼者は全然なくなつたので自然地元の大量申込も解消の形となり僅かに小名濱町のアグリ業者へ同縣鷄岡からの出稼者の三十名を斡旋した

尚同紹介所扱ひの川崎造船所職工募集は目下取扱

## 運動會と併行して

### ホスター展を催す

平商校で目下精進中

既報來る十月十三日陸上運動會を開催する平商は併せて全校生のホスター其他各

いので御免蒙つたのだつた。

獨乙の國境線ノイベンチエンに於いては二十八日午前五時頃、さすがにオリソピツク視察團といふので税關は寛大、唯財布の中味だけは嚴重にき、その調書を渡してくれた。これは出國の際必要だと云ふので大切にしまはなければならなかつた。

ノイベンチエンに入つて汽車にオリソピツクのマーク、譯に街に五輪旗、おまけにナチスの旗が頭のし

## 体育對抗

郡下の出場

優勝を目指

體育協會石城支部は來る十月一日郡山市安中グラウンドの本縣體育協會主催縣下各郡支部對抗體育大會に出場する事になり早くも優勝を目ざし猛練習を開始したが種目は陸上競技、籠球、柔道の三種目、陸上競技、柔道は二十五才以上及び以下の二組に分れ籠球は男女別に行れる由

## 射擊選手

磐中平商決定

既報十月十一日若松二十九聯隊射擊場に開催される縣下中等學校第一回射擊大會の演選り豫選は愈々來る二十七日午前九時から双葉郡浪江町射擊場に開かれるが磐中及び平商の出場選手は

## 上田病院

平町 南町  
電話二一九番

今二十二日左の如く決定された

- △磐中 鯨岡孝 仁平將吉
- 山家重三 遠藤茂 渡邊
- 清匡 補員鈴木吉 平山
- 下年一 鷲七郎 木田茂
- 敏
- △平商 吉田喜一 中根正
- 博芳賀弘 坂本昇 薄葉
- 喜廣 補欠渡邊眞行 鈴木二郎

# 中毒の謎を解く

## 辨當の科學試驗

### 落合技師が持ち帰つて

#### 嚴密な分析研究を遂ぐ

(昨報)死亡者を三名までも出した磐崎村の折詰中毒事件は縣衛生課、平署衛生課並に地元役場その他各醫師が八方手を盡し漸く下火になり發病者も殆ど全快に向つて來たのでほつと胸なで下されてゐるが中毒原因は折詰からとしても

△調理方法の落度が  
△製造用器具の不善

何れ共断定するに至らないでゐるが事件發生と同時に中毒原因を調査中であつた縣防疫課落合技師が本二日午後二時十五分平署發で歸福したので持ち返つた折詰分析に依り愈々今日日中に原因判然する譯である

# 仕出し屋が

## 必死の辯明

### 先年入山でも

#### 不始末を起す

##### 磐崎郷軍側の責任も問題

折詰中毒事件として本縣稀有の二百四十二名と云ふ多數の患者を出した折詰の製造元湯本町字天王崎漁業と庄司濱吉はその朝折詰を近所の人達に配つたが誰一人異状がなかつたと自己辯明に必死となつてゐるが同人は先年も入山炭礦の食堂を請負つてゐた當時不始末から營業停止を喰つたことあり一部には製造を依頼した磐崎郷軍側の調査不充

# 死亡者に

## 村から弔慰

磐崎村では二十日午後四時から急施村會を開き、善後策を協議した結果、中毒死亡者には村から弔慰金五圓を贈り、他家百三十戸へは大和村長並に忠魂碑建設委

# 過失致死で

## 夫婦を検事局へ

磐崎の中毒事件に就いて平署では引續き仕出人庄司濱吉を取調べてゐたがタツタ夫婦二人の手で四百五十人分の大量注文に應じた點及

折詰に依る中毒が確定したので近く拘留中の兩名を業務上過失傷害致死罪として送検する方針であると

# 大量の仕出しは

## 警察が立會監督

縣衛生課では磐崎村の中毒事件に鑑み今後大量仕出しの場合には警察署へ一應届出

しめ署から衛生官が出向いて監督指導することになり廿一日平署に通過があつた

# 妻の家への

## 面當てからと

### 放火犯人嘯く

#### 其筋は保険金詐取と睨む

(既報)去る十一日夜全町を擧げての防空演習が一時中止された十時四十分頃自宅側の空屋に放火して十五日

平署に檢舉され取調べ中の平町紺屋町雜貨商加茂文男(三〇)は今年一月日本簡易保險會

今晩の部

後六〇〇 傳説物語「宮千物語」H.K.コードモ會

後六二五 青年の時間

「青年と家庭」麻生正藏

後七三〇 子供と家庭の夕三三絃童謡 町田旬子

他二ナゼノ座談會 なせノ座談會 33アアイ

平町紺屋町雜貨商加茂文男(三〇)は今年一月日本簡易保險會

明日の部

前六三〇 初秋刀魚取引

前九三〇 少年音樂講座

「打楽器」弘田龍太郎

前一〇〇〇 講演「神田拔穂祭に就て」田中喜芳

前一〇〇〇 講演「我が國民の傳統的特色」出石誠彦

前一一〇〇 彼岸會法要

奈良東大寺中繼

前一一五〇 六大學野球

立帝、明慶戦、神宮球場中繼

後〇五〇 和讃と教佛音樂

金剛講 覺支支部蒲田少女會 佛教音樂協會

聖歌隊

後六〇〇 「秋の天體」村上忠敬

後六二五 講演「日本弧の成因」江原眞伍

後七三〇 ラヂオ風景

「晚御飯三軒」月野道代

後八〇五 ビアノ管絃樂

後八四〇 クロイツァー日響

後八四〇 國民歌謡 永田絃次郎 長門 美保、キング合唱團 明村光子

後九〇五 新筆曲「秋の調」「砧」宮城道雄 社中

社に家屋その他三千百三十圓を契約して居る生活苦から保險金欲しさの放火と判明本廿二日書類のみ送検されたが同人は放火の動機を飽くまで保險金目當の物でなく妻の實家が郡山市内で相當大きな店を持つてゐながら最近

不況にある自分達を面倒見て呉れぬから家が焼けてもしたらと遂にやつたと頑強に自供し續けてゐると

尚同入妻は檢舉當時妊娠中であつたがこの程男の子を分娩産床にあつて夫の大罪を歎いてゐる

# 被告も吃驚して

## 判決の聞き直し

### 求刑は懲役七年が

#### けふ一年の言渡し

警官の急所を掴み所謂「お定式戦法」を用ひて強盜傷人公務執行妨害の罪に問はれ過般懲役七年を求刑された當時住居不定無職伊達郡梁川町大町生れ穴戸(三三)の判決言渡し公判は今二十日午前十一時半から平支部で中島才判長係り香西、野木兩判事陪席氏家檢事立會酒井官選辯護士別席の下に開廷、懲役一年を言渡されたが求刑との差が甚しいので犯人も面喰つた型で恐る／＼判決を聞き直した

# 亂暴漁夫

## 餘罪が續々

(既報)去る十七日江名町大字中ノ作港内で喧嘩の仲裁に入つた同町北明漁業家遠藤清七氏を岩壁から海中に突き落して平署に檢舉された茨城縣川尻町生漁夫篠原次男(二〇)は取調べた處去月末植田町字小名濱漁業家鷲清治氏方に至りアグリ船に乗り込む約束で五十圓を詐取した外七件全額二百餘圓の前借詐欺が判明引續き餘

# 井坂醫院

平町・田町  
電話五五九番

# 安齊科醫院

平町・田町  
電話四七五番



（前上）  
（前中）  
（前下）  
（後上）  
（後中）  
（後下）  
（終）

二二八 助ける手段

お花の申立てるを聞いて判事の伏谷も差添ひの大木勘兵衛も大きに同情した、してやつたりとお花はなほも目をぬぐひ

花「兄の敵を討つために男妾になつて居ります、又浪人者や顔役衆とつきあうも兄を殺したその敵の何者なるかを知るためでございます、何卒お察しく下さいませし」

如「それは哀れなことであるな、しかし兄の仇を討つは貴様一人の私事、官軍に抵抗したは不届き至極よつて入牢申し付ける」とかう云ひ渡してこの總督府の獄に投じた、それを聞いて次郎長が

次「これはいけねえ、牢に入られるやうでは相當な處分をうけるであらう、あの女を殺すは可哀想だ、何うして助けたものか」とその手段につて頭をいためたするとこゝにゐた柳清四郎は次郎長に向ひ

清「土井伊織殿の女と云ふことは初めて知りまして、男装いたし居られた故女子とは思はなんだ、それは兎も角もわれ／＼夫婦のた

送り込むことが出来ねえ、まア俺が何とかしてお花をこちらへ引き取ることにする、常人を引き取つたならばお前さんがあいつをつれてこゝを立ち退いておくんなさい」

二二九 助ける手段

には大恩人、その恩人のくらしみ居るを知りながら救ひ出さぬは恩義にそむきしこと、よつて拙者の手にてお花殿を助け出して、これへつれ参る事にいたしました

次「何うして助けなさるの」  
清「かやうな時は火を用ゆるがよろしい、すでに孫子と云つたが、翌日子分一

にも内に火を發して外これに應ずべしと云ふこともござる」

次「イヤそそいつはいけねえ、牢に火をつけて助け出すとはそれはうまい考へだが、見張が嚴重とて火薬を

人をつれて駿府の總督府に出て来て伏谷如水に會ひ次「承はりますに土井伊織ことお花は入牢になつたこととござりますが、遠からずお處刑を仰せつけられることと存じます」

如「ウム左様、官軍に抵抗した以上は賊である、女たりとも周捨はいたさぬ」  
次「御尤もにござります、女が男になつてゐたことについて御吟味をなさいましたか」

二三〇 助ける手段

達衆にもまじはり居つたことである、また幕府の家來と共に官軍に抗したも幕臣のうち兄を殺した敵が居るであらうかとそれらを探るために戦ひをもちいたしたと申し居る、その情はまことにあはれむべき事であるが朝敵の罪を犯した以上はこそは捨ておくことはなるまい、何れ長官に伺つた上相當の刑に處するであらう」

次「それには考へたこともある、これがうまく行けばお花をこつちへ引き取ることも出来るだらう、これがうまくいかねえ時はあの牢に火をなして助け出すことにする、まゝこの長五郎のすることもよく見てお在下さい」

と云つたが、翌日子分一人をつれて駿府の總督府に出た、伏谷如水に會ひ次「承はりますに土井伊織ことお花は入牢になつたこととござりますが、遠からずお處刑を仰せつけられることと存じます」

次「それれも御尤もでございます、つきましては旦那私は今までこちらの御用を聞いてこの駿府は申すまでもなく下田または清水その他駿州から豆州に入り込んだ浪人者やまたならずもの、取りしまりをいたして居りましたか、今度都合によりましてこの御用は今日限りお断り申します、御免を蒙ります」

ときつぱり申した、伏谷はこれを聞いて肩をひそめた次郎長の勢力をかりて不逞な徒を取りしまり居る、新政府の一手にてはこれらを取締るは甚だ困難、こゝで次郎長に手を引かれては又々悪黨がはびこる、ハテ何んとしたものかとこれについて考へた。

次「それれも御尤もでございます、つきましては旦那私は今までこちらの御用を聞いてこの駿府は申すまでもなく下田または清水その他駿州から豆州に入り込んだ浪人者やまたならずもの、取りしまりをいたして居りましたか、今度都合によりましてこの御用は今日限りお断り申します、御免を蒙ります」



# 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

# 中野齒科醫院

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架  
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科  
一口腔外科 一レントゲン科

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次  
日本齒科醫學士 西川 誠

平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

# 外科

門 專  
科 線 光 X  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番

# Refinetex

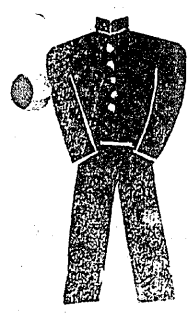
リファインテックス  
秋冬の洋服地は  
新柄揃ひの  
リファインテックスで



大崎屋洋服店  
平銀座通 電 96

# 通學用冬服賣出し

御待兼ねの通學服が全部取揃ひました  
いづれも、型・生地・裁縫共に入念なる  
製品です



國防色冬服	6 號	4.10=
		各寸20錢上リ
黒小倉服	6 號	3.50=
		各寸20錢上リ

ふかや洋服店 平町南町 電話203